

韓国駐在地方公務員に大好評！ クレアソウルセミナーから

ソウル事務所

「韓国駐在地方公務員等連絡協議会」は、韓国に駐在している日本の地方公務員の方々等に、韓国の政治、経済、文化等についての理解をより一層深めていただくとともに、普段は各派遣先で別れて勤務している会員同士がネットワークを構築し、今後の業務遂行の一助とすることを目的として設置しています（事務局：クリアソウル、会長：クリアソウル事務所所長）。

今年度は、第一回目の慶尚北道視察をはじめとしてすでに3回を実施しました。

第4回目となる今回は、光州広域市、群山市及び忠清南道を訪問しました。

（第1回 慶尚北道視察、第2回 世宗新都市建設事業、第3回 クリアクリラ共同セミナー）

1. 主な日程の概要

① 光州広域市訪問～光州の歴史や文化に触れる～

我々一行は、まず光州市役所を訪問し、市役所内にある広報館にて光州広域市の歴史や文化の概要について説明を受けました。

その後、ホン・チンデ光州広域市投資雇用局長を始めとした光州特別市の職員の方々との意見交換を行い、早速、光州における過去の歴史の舞台となった旧全羅南道道庁跡地を訪れました。

光州広域市は、面積が約 501 km²、人口が約 147 万人（2010 年現在）の都市で、1995 年に光州直轄市から光州広域市へと名称が変更され、現在に至っています。

「光州」という名称の由来は、不明ですが、その名称は約 1 千年前の高麗時代の太祖 23 年(940)に初めて使われて以降現在まで使用されています。

このように「光州」（＝光のまち）を意味する名を持つ光州市ですが、1980 年には当時の軍部独裁に対する 5.18 民主化運動が行われ、その名のとおり韓国における民主化の光となったことは非常に有名です。

その民主化運動の中心的な舞台となったのが、今回訪問した旧全羅南道道庁跡地です。

現在この場所は、国立アジア文化殿堂と言われる施設を建設中のため工事中となっていますが、仮設の堀越しに旧道旧全羅南道道庁の建物を



旧全羅南道道庁跡地

見ることができ、当時の様子をかいまみることができました。

国立アジア文化殿堂は、アジア文化のハブ都市を目指す光州市の拠点施設であり、多目的複合公演場・アジア文化館・文化交流センター・アートプレイス・子供知識センターなどが入る予定で、その規模、スケールの大きさには驚かされました。

② 光州広域市訪問～KIA 自動車工場見学～

光州の総生産額 24%、雇員数 22%を占めるほど光州市の経済に寄与している起亜自動車光州工場を見学しました。工場内の撮影は禁止されていたので、写真撮影は行えませんでした。ほとんどがオートメーション化されている工場内は、規模の割に作業員の数が少ないことが印象的でした。



KIA 自動車光州工場

また、この工場を見学に訪れた日本人は初めてとのことで、我々と起亜自動車の双方にとって記念すべき訪問となりました。

③ 全羅北道群山市訪問～過去の歴史を観光資源へ～

群山市は、面積が約 676 km²、人口が約 28 万人の都市です。かつては日本にコメを搬出する重要な港としての役割をもち、一時期は日本人が 1 万人ほど住んでいた地域であります。

そのため、現在でも群山市にはその当時の日本式家屋が数多く残っており、一時期は開発か、保存か、で意見が割れたこともあったようですが、我々を手厚く出迎えてくれた文東信市長の、「青少年の学習の現場であり、立派な観光資源である」という判断のもと、保存活用され現在に至っております。

また、群山市においては、1930 年代の群山の姿を再現した近代歴史博物館（昨年 9 月にオープン）を見学しました。

近代歴史博物館は、やはり群山市の大きな事業の一つであることから、我々の訪問に対する地元の関心は高く、当日は、韓国のテレビ放送局（KBS）が取材に訪れ、早速その日の夜のニュースで我々の様子が放送されました。



インタビューに答えるクアソウル事務所の 大西公一郎次長

④ 忠清南道訪問～道庁移転の建設現場へ～

現在、忠清南道道庁は大田広域市に所在しますが、1989 年に大田市が広域市となり忠清南道から分離されたことから、現在地から約 90 kmほど離れた忠清南道洪

城郡と禮山郡にまたがる地域に道庁移転の計画が進行しています。最終的には、道庁の移転とともに、その周囲に 10 万人規模の新都市を建設する予定で、道庁自体は本年末（2012 年 12 月）には移転する予定です。

実際の現地は、建設中の道庁及び一部のマンション住宅を除いては、造成中の更地が広がっている状態であり、この場所に 10 万人規模の都市が生まれることを想像することが難しいほどの状況でした。

しかしながら、それゆえにこの事業の規模の大きさに驚かされました。



(内浦) 新都市建設現場

2. さいごに

今回のセミナーは、国土の均衡発展を目指して観光や産業振興、道庁移転を通じた地域開発を進める韓国の活力と勢いを感じる研修となりました。

また、2 つの市と 1 つの道を巡る非常に広域にわたるものでしたが、訪問した先々での手厚い歓迎や、多大なご協力をいただき、無事に終えることができました。

お世話になった数多くの方々、そして手厚い歓迎で迎えていただいた方々にこの場を借りて心よりお礼申し上げます。

なお、今年度は最後となりましたが、クリアソウルでは来年度以降も新しい企画でセミナーを開催していきますので今後ともよろしく願いいたします。

(石塚所長補佐 鹿児島県派遣)

CLAIR